

次期大阪市教育振興基本計画（案）について

基本理念、最重要目標

基本理念

全ての子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力を備え、健やかに成長し、
自立した個人として自己を確立することをめざします。

あわせて、グローバル化が進展した世界において、多様な人々と協働しながら
持続可能な社会を創造し、その担い手となることをめざします。

次に示す3つの最重要目標のための取組を相互に連携させ、推進することにより、基本理念の実現をめざす。

最重要目標

安全・安心な教育の推進

未来を切り拓く学力・体力の向上

学びを支える教育環境の充実

計画の位置付け

- ・教育基本法に基づき、社会の情勢やこれまでの本市教育の取組の成果と課題等も踏まえ、
令和12(2030)年以降の社会を見据えた新たな計画として策定
- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき市長が定めるものとされている、
「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」として位置付ける

次期計画 = 第1編 大綱（基本理念・最重要目標 等） + 第2編 施策（具体的な取組）

計画の範囲

- ・就学前教育、小学校及び中学校における義務教育と生涯学習に関する教育施策

他の計画等との理念の共有

- ・「生涯学習大阪計画」や「大阪市子ども読書活動推進計画」など他の計画等と理念を共有

計画の期間

- ・令和4(2022)～令和7(2025)年度の4年間

施策推進における9つの基本的な方向と目標の設定

- ・3つの「最重要目標」の達成に向け、重点的に取り組むべき施策を推進するため、9つの基本的な方向を示す。

1 安全・安心な教育の推進

1	安全・安心な教育環境の実現	<input checked="" type="radio"/> いじめへの対応 <input type="radio"/> 問題行動への対応 <input type="radio"/> 防災・減災教育の推進	<input checked="" type="radio"/> 不登校への対応 <input type="radio"/> 児童虐待等への対応 <input type="radio"/> 安全教育の推進
---	----------------------	--	--

- ・「大阪市いじめ対策基本方針」に基づく対処
- ・「学校安心ルール」の徹底
- ・ICTやスクリーニングシートの有効活用
- ・いじめ第三者委員会の活用
- ・児童生徒一人一人に寄り添った不登校要因への対応、学習機会の確保に向けた取組
(教育支援センターの設置や不登校特例校の設置検討・ICTの活用等の充実)
- ・大阪市スマホサミットの成果を活かした、節度ある適切な使用に向けたルール策定

主な目標	令和7(2025)年度
「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合	全国平均以上
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童生徒の割合	全国平均以上
不登校児童生徒の在籍比率の対全国比	小 1.00 中 1.30
「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらいSNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか。」に対して、3時間以上と回答する児童生徒の割合	小 20.5% 中 26.5%

2

豊かな心の育成

- 道徳教育の推進
- キャリア教育の充実
- 人権を尊重する教育の推進
- インクルーシブ教育の推進
- 多文化共生教育の推進

- ・道徳教育・キャリア教育の充実を図り、自己肯定感・自己有用感を改善
- ・学校教育活動全体を通じた道徳教育活動を進め、子どもたちの基本的な道徳心・社会性を育成

主な目標

令和7(2025)年度

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合

全国平均以上

2 未来を切り拓く学力・体力の向上

3

幼児教育の推進と質の向上

- 就学前教育カリキュラム等に基づいた教育の推進

- ・引き続き「就学前教育カリキュラム」等に基づいた教育の推進を通して、幼児教育の推進と質の向上を図る。
- ・小学校以降の教育において未来を切り拓く学力や体力を身に付ける基礎を培えるよう取り組む。

主な目標

令和7(2025)年度

「就学前教育カリキュラムを活用して実践する意識が高まってきたましたか」に対して、最も肯定的な「高まってきた」と回答する市立幼稚園・保育所の教職員の割合

53%

「今後の教育・保育に活用できますか」に対して、最も肯定的な「活用できる」と回答する参加者の割合

80%